



日本サービス大賞  
NIHON SERVICE AWARD

平成30年6月28日

各位

第2回 日本サービス大賞 地方創生大臣賞

株式会社 大垣共立銀行

## 「第2回日本サービス大賞 地方創生大臣賞」の受賞

大垣共立銀行（頭取 土屋 嶨）は、「第2回日本サービス大賞」において「地方創生大臣賞」を受賞しました。

日本サービス大賞とは、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会（※）が主催し、多岐にわたる業種の多種多様なサービスを共通の尺度で評価し、優れたサービスを表彰する制度です。

そのなかで、OKB大垣共立銀行は「“お客さま目線”“地域と共に”の想い 『脱・銀行』への挑戦」が評価され、「地域の活性化の視点で大きく貢献した優秀なサービス」を表彰する「地方創生大臣賞」を受賞しました。

OKB大垣共立銀行はこれからも、“お客さま目線”と“地域密着”の実践によりサービス業を追求し、「脱・銀行」を目指して未来への挑戦を続けてまいります。

### 【表彰対象サービス】【特に評価されたポイント】

“お客さま目線”“地域と共に”の想い 「脱・銀行」への挑戦	
	<p><b>【表彰対象サービス】</b> 銀行の常識にとらわれることなく、お客さま目線で進化を続けるOKB大垣共立銀行のサービス。</p> <p><b>【特に評価されたポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「OKBはサービス業」との企業文化を浸透させ、地域密着で顧客の利便性を追求したサービスを開発・実施する体制を構築。</li> <li>● 年中無休のATMや移動店舗、ドライブスルー店舗、手のひら静脈認証だけの取引など、業界初のような様々なサービスを次々と実現。</li> <li>● 「サービス業」としてお客さま目線のサービスを生み出し続けることで、地域の顧客満足を高めるとともに、地域経済の活性化に寄与している。</li> </ul>

※ サービス産業生産性協議会（SPRING）

2006年の安倍政権の経済成長戦略にて「サービス産業のイノベーションと生産性向上」を目指して発足が決定し、翌年、産学官が取り組む共通のプラットフォームとして設立。様々な業種の企業・団体による会員構成で活動。2013年に政府より発表された日本再興戦略では「SPRINGを国民運動として再構築する」と明記され、活動を積極的に拡大。経営革新ツールなどの情報提供、知識共有の場づくり、会員同士の交流などを通して、サービス産業のダイナミックな成長を支援している。

「日本サービス大賞」について、詳しくはホームページ (<http://service-award.jp/>) をご覧ください。

以上